

伐採作業で注意すべきこと

作業中に危険を伴うことはもちろんですが、作業前や作業後にも注意するべき点がいくつかあります。伐採によって予期せぬリスクが発生しないようにするためにも、下記の注意事項を必ず確認するようにしておきましょう。

1. 作業スペースを確保する

安全管理をする上で、樹木が倒れる方向を緻密に計算し、安全性を考慮して作業するための十分なスペースを確保することが重要です。

2. 服装を整える

作業を安全かつ円滑に行うには適切な服装が必要です。

- ・袖と裾がきちんとしまる作業服
- ・安全靴・防振手袋
- ・必要があればすね当てや安全帯などの保護具

3. リスクアセスメントを実施する

リスクアセスメントとは、伐採作業をする現場において潜在する危険性や有害性を特定し、それらを低減および除去するための手順のことをいいます。安全作業を行うために、作業前には非常に重要なものになります。作業中にヒヤリとしたりハットとしたことがある、いわゆる「ヒヤリハット」と呼ばれる事例を共有し、事前に改善策を講じておくことが大切です。

依田林業新聞

発行所

(有)依田林業
塩山事務所

斜め伐りは危険

○伐倒方向が不確定

受け口を切らないので、伐倒方向が定まりません。

切り込む角度と、残し具合で調整するので非常に難しいです

○ガイドバーが挟まれる可能性がある

重心がかかっている側から切り込むと、倒れる前に切りきることができずにガイドバーを挟まれます。真ん中辺りまで切ったら、1度ガイドバーを抜いて反対側から切り込みましょう。

○一気に滑り落ちてくる

通常は、追い口切りでつるを効かせて倒しますが、スパッと斜めに切るので、逃げる間もなく一気に倒れてきます。

○滑り落ちた衝撃で下のある木が跳ね返ってくる

古い丸太や除伐したかん木などが、落下の衝撃で跳ねることがあります。

前向きになれる一言
心の不調が体の不調に繋がる
心の健康を保つことは、食事や睡眠と同じくらい大切なのだ。ストレス程悪い心の病気はない。



1. 危険な切断を避ける
- 2 機械メンテナンスをする
- 3 ヘルメットや防護服の着用
- 4 両手で正しい持ち方をする
- 5 バー先端を使わない
- 6 身体の右側で使用する